

11 謙渡後の飼育支援～アフターフォロー

謙渡された子猫たちが、適正に飼養されているかどうかを把握し、また、問題がある場合には適切に対処していくことも、謙渡事業における重要な要素の一つです。

不妊去勢手術の実施確認

謙渡された子猫の不妊去勢手術は非常に大切なことで、謙渡の際の誓約書で約束していますが、実際は、その実施率が低いのが現状です。手術を確実に実施してもらうためには、謙渡後の確認等が重要になります（くわしくは、不妊去勢手術のページ（P22.23.24.25）を参照してください）。



報告書の提出～家庭訪問

謙渡後の飼育環境や健康管理などについて報告してくれるよう、謙渡時に用紙を手渡しあるいは、自治体は多いようです。

この報告書の提出がない、あるいは、内容に不安な点があるなどの場合は、電話や家庭訪問で問い合わせ、指導するのが望ましいですが、人員不足などで難しい場合は、ボランティアに協力をあらねじているところもあります。

【報告書の内容例】

- ①飼育場所について
室内飼い・室内外自由
- ②現在飼っている動物の数について
譲り受けた動物を含めて（ ）
- ③不妊・去勢手術について
手術実施日（ ） 実施病院名（ ）
- ④混合ワクチン実施状況について
実施年月日（ ）
- ⑤健康状況について
良好・不良（ ）
- ⑥譲り受けた猫について困ったことはありますか？
()
- ⑦近況をお書きください
()

電話や来所による相談

飼育方法や問題行動に関して、謙渡後に相談を受けることもあります。猫の場合は、トイレの問題が多いようです（対処方法は、次ページの猫のトイレ問題へのアドバイスを参照してください）。



謙渡後の猫が適正飼養されているかどうかを確認し、また、動物愛護センターでは、HP上に「謙渡ねこのコーナー」を設けています。謙渡された猫を連れてセンターに里帰りしてくれた方の写真や、メールで送られてくる「うちの子自慢」の写真などを掲載しています。しつけ方教室などで、譲渡後の状態を確認するチャンスがある犬に比べて、猫の場合は譲渡されたらそのまま…ということも多いなか、このHPでは、譲渡後も適正な飼養を呼びかけ、将来的な譲渡希望者を増やすことにもつながっています。

和歌山県 謙渡猫のHP

事例⑯



Column

猫のトイレ問題へのアドバイス



「トイレ」の問題が寄せられた場合には、うまくいかない原因を探り、それに合わせたアドバイスをするために、まず状況を細かく聞き取ることからはじめましょう。

以下は、その聞き取りのポイントです。



1

体に異常はないか

病気による排泄が考えられる時は獣医さんへ。

2

トイレの環境はどうか

トイレの設置場所を変えた、砂の種類や容器を変えた、などの変化によって問題が起こることもあります。猫が落ち着ける場所を選ぶ、砂の種類を変えてみる、などの工夫を勧めてみましょう。

3

トイレの数はどうか

複数飼育の場合は、猫の数プラス1が、適切なトイレの数と言われています。設置場所についても、並べて置くのではなく、別の部屋に置くなどの工夫も必要です。

4

オス猫のスプレー行動

発情期を迎えた未去勢のオス猫には、あちこちにおしっこをかけるスプレー行動があります。早めの去勢を勧めましょう。

5

マーキング

オス・メス、不妊去勢の有無に関係なく、マーキングの意味で家のあちこちにおしっこをかけることがあります。これは不安からくることが多いようです。猫によっては、野良猫などよその猫と接触したり、窓から見えたりすることがきっかけになることがありますので、猫の生活環境をもう一度考えてもらいましょう。